

2025年11月13日発行 会報 第1258号

今週のプログラム

(2025年11月13日 第1258回例会)

「奉仕活動について意見交換会」

豊中市社会福祉協議会 勝部事務局長様

次週のプログラム

(2025年11月20日 第1259回例会)

「今後の例会開催について」

全会員

第1257回 例会 (2025年11月 6日) の記録

《会長の時間》

水本 徹 会長

皆様、こんばんは！

いよいよ11月に入り、先日までの暑さが嘘のように肌寒くなってきましたが、くれぐれも体調管理をしっかりとなさって風邪などひかれませんように。

本日は、恒例の「留学生との交歓会」で、今年も関西大学より7名の留学生の皆様と、9月まで米山奨学生のグエン・カム・フンさんにもご参加いただいたの例会です。

国際教育センター長 稲田貢先生には、大変お忙しい中、留学生の引率はじめご尽力を賜り厚く御礼申し上げます。

我々も毎年留学生の皆様方の日本に留学して感じた事などのお話を大変楽しみにしており、本日は最近にはない最高の出席率に嬉しく思います。

留学生の皆様は将来の大きな夢を持って日本に留学なされ、日々勉強に努力されていると思いますが、これからも一人でも多くの友人を作り楽しみながら日本の文化を理解して頂けることを願っています。短い時間ではありますが皆様にとって有効なひと時でありますように。



ロータリー米山記念奨学会



関西大学  
KANSAI UNIVERSITY

＜お客様＞ 関西大学 稲田 貢 教授 関西大学・留学生 7 名

曹 冬月 (ソウ トウゲツ) 様      只 子涵 (シ シカン) 様  
 崔 丞完 (チェ スンワン) 様      羅 氷梨 (ラ ヒョウリ) 様  
 原 鳴 (ゲン メイ) 様      葛 倩宏 (カツ セイコウ) 様  
 イエ ジェイソン 様  
 米山奨学生 グエン・カム・フン様

<出席報告> 藤田芳浩 SAA補助

会員数 15 名（内出席免除会員 4 名）

本日の出席者数 14 名

(内出席免除会員 4 名・名誉会員 0 名)

本日の出席率 93.3%

＜ロータリーソング＞ 全会員

♪君が代♪

♪奉仕の理想♪

奉仕の理想に 集いし友よ  
御国に捧げん 我等の生業  
望むは世界の 久遠の平和  
めぐる歯車 いや輝きて永久に栄えよ  
我等のロータリー ロータリー

## 《幹事報告》

山本友亮 幹事

- ① 2025-26 年度 ガバナー月信 11 月号(データ版)を添付にてお送りさせていただきました。  
ご精読をお願いいたします。
- ② 第 2 回プレ PELS(旧 PETS) : 会長エレクトラーニングセミナーのご案内  
日時 : 2025 年 12 月 6 日 (土) 10:00～  
形式 : **Zoom** (Zoom ID およびパスコードは追ってお送りします)
- ③ **【地区職業奉仕委員会より卓話講習会のご案内】**  
日時 : 2025 年 11 月 19 日 (水) 16 : 00～18 : 00  
**職業奉仕 高尾委員長 登録完了しております。**
- ④ 国際ロータリー第 2660 地区 2025-2026 年度地区大会登録のお願い  
**地区大会 会場参加でお申込みの皆様に名札が届いております。**
- ⑤ 摂津ロータリークラブ 創立 55 周年記念式典前夜祭  
日時 : 2025 年 11 月 14 日 (金) 18 : 00～ 入場無料



<今後の例会>

**第2週 11月13日(木) 「昼例会」**

時間：12時開会 場所：江坂ゴルフセンターレストラン  
プログラム「豊中市社会福祉協議会 勝部事務局長様との意見交換会」

**第3週 11月20日(木) 「夜例会」**

時間：18時30分開会 場所：ル・ジャルダン 江坂  
プログラム「今後の例会開催について」

**第4週 11月27日(木) 「昼例会」**

時間：12時開会 場所：江坂ゴルフセンターレストラン  
プログラム「クラブ活性化のための具体的な提案をしましょう」

《SAA報告》

藤田芳浩 SAA補助

<スマイルBOX>

**※米山記念奨学会**

|           |                          |
|-----------|--------------------------|
| 水本会員      | 留学生の皆様 ようこそ!!            |
| 高尾会員      | 留学生の皆様 ようこそ!!            |
| 藤田会員      | グエンさん ようこそ!! 宜しくお願いします!! |
| 相原会員・高田会員 | コメントなし                   |

**※ロータリー財団**

|      |                           |
|------|---------------------------|
| 藤田会員 | 関西大学国際部 稲田様 留学生の皆様 ようこそ!! |
| 石田会員 | 楽しみです                     |

**※メイプル基金**

|             |                 |
|-------------|-----------------|
| 水島会員        | 四季ならぬ、二季と呼ぶそうな。 |
| 山本友亮会員      | 皆様 いらっしゃいませ。    |
| 岸上会員・西本明文会員 | コメントなし          |

**※ニコニコ奉仕金**

|        |               |
|--------|---------------|
| 村田会員   | 留学生の皆様 ようこそ!! |
| 西本詩子会員 | コメントなし        |



稲田 貢 教授



ソウ トウゲツ様



ラ ヒョウリ様



カツ セイコウ様



ゲン メイ様



イエ ジェイソン様



チェ スンワン様



グエン・カム・フン様



シ シカン様

「留学生との交歓会エントリーシート」

- ① お名前・・・[                                  ]      ②出身国・・・[                                  ]
- ③ 現在、日本にきて何年ですか？ [     年    月 ]
- ④ 関西大学で学んでいることは何ですか？ [         ]
- ⑤ 大阪・関西万博について、印象に残っていることや感じたことを教えてください。
- ⑥ 万博のテーマ「いのち輝く未来社会のデザイン」から、思い浮かべる“未来”や“夢”を教えてください。

- ① 名 前・・・[ シシカン 只子涵 ]

- ② 出身国 . . . [ 中国 ]

- ③ 来日して [ 3 年 2 月 ]

- ④ [熱中症と低体温症の報道の偏りについて研究している]

- ⑤ 5月31日に友達と一緒にいった。私にとって、万博は世界を知る場所だ。

一番興味が深かったのは、IPS 細胞だと思う。IPS は未来の医療に多くのチャンスを提供した。

また、フランスのウェディングドレス、オーストラリアのサンシャインコースト、中国の歴史文化にも魅力された。しかも少し残念なことは、予約システムがややこしくて、とても時間がかかった。

- ⑥ 私は「いのち輝く未来社会」を、人と自然が共生し、災害に強く誰もが安心して暮らせる社会だと考える。大災害に対して、将来は防災だけでなく、福祉との両面から、公助、共助、自助という視点から着目し、人々のいのちを守る仕組みづくりに取り組みたい。

- ① 名 前・・・[ 羅氷梨 (ラ ヒョウリ) ]

- ② 出身国・・・[ 中国 ]

- ③ 来日して [ 1 年 1 カ月 ]

- ④ [ 文化交涉学 ]

- ⑤大阪・関西万博について、実際に会場へ行ったことはありませんが、SNS で見た万博の話題の中で特に印象に残っているのは、「大屋根リング」と呼ばれる建物と、マスコットキャラクターのミャクミャクです。閉幕の際にミャクミャクが語った「おはよう、未来。」という言葉も心に残りました。万博は終わっても、そこから生まれた思いや気づきが人々の中で続いていく—そのメッセージがとても温かく、希望を感じました。世界のさまざまな文化や考え方が交わる万博を通して、「未来」は誰か一人ではなく、みんなでつくっていくものだと感じました。

- ⑥私は将来、大学の先生になりたいと考えています。言語や教育、文化交流を通して、学生に新しい視野を届け、世界を広く見るきっかけを作りたいです。たとえ小さなことであっても、誰かの考え方や生き方に良い影響を与えられるような教育者になりたいと思っています。そうした関わりの積み重ねが、私の思う「いのちが輝く未来」につながると信じています。

- ① 名 前・・・[グエン・カム・フン]

- ② 出身国・・・[ベトナム]

- ③ 来日して [3年6月]

- ④ [9月大阪大学人間科学部 G30 英語コースを卒業。専門は国際教育と日本における留学生です。]

- ⑤ 私のまわりでは、ほとんどの人が大阪・関西万博に行っており、感想は本当にさまざまでした。

ただ、共通していたのは「とにかく人が多かった」ということと、「大阪のどこに行ってもミヤクミヤクを見かける」ということです。私は10月の初めに行きましたが、そのときも多くの人でにぎわっていました。少し驚いたのは、海外からの観光客よりも日本の方が多かったことです。会場のスケールはとて大きく、世界中の国が一つの場所に集まっている様子はとても印象的でした。世界の国々が集まり、お互いの文化や価値を理解し合うこと自体が、より良い未来社会を築く第一歩になるのではないかと思います。万博を通して、国際的なつながりの大切さを改めて感じました。

- ⑥ 私が思い浮かべる未来は、国や文化、考え方がちがっても、お互いを理解し、尊重し合える社会です。「いのち輝く未来社会」とは、すべての人が安心して自分らしく生きられる社会だと思います。私はベトナム出身ですが、日本で勉強し、留学生活やロータリー米山奨学金の活動を通して、多くの国の人と出会いました。その中で、意見や価値観がちがっても、話し合い、理解しようとすることで、新しい発見やつながりが生まれることを感じました。将来は、ベトナムと日本、そして世界の人々の間で、違いをこえて理解し合えるような活動をしたいです。多様な考えや文化を認め合うことが、「いのち輝く未来社会」をつくる第一歩だと思います。

① 名 前・・・[ チェスンワン ]

② 出身国・・・[ 韓国 ]

③ 来日して [ 0 年 7 月 (合計 3 年 8 ヶ月) ]

④ [ 外国語学部に所属して日本語を専攻しています。副専攻として英語を勉強しています。 ]

⑤ 万博が始まった 7 月から 9 月上旬にかけて、私は星野リゾートで長期インターンをしていた。その期間だけでもどれほど多くのお客様が万博を訪れようとしていたか、今でもよく覚えている。日本人はもちろん、外国の方々も万博を訪れ、夜にはその印象について語り合ったり、「大変だったこと」「楽しかったこと」を共有したりしていたのが印象的だった。インターンとして過ごした時間が偶然万博の開催期間と重なり、様々な人とコミュニケーションをとることができたのは、私にとってとても新鮮な経験だった。

⑥ 個人的に万博の意義は「平和」にあると考える。私が願う「いのち輝く未来社会」は、旅行を通じて平和が実現する未来である。向かいと比べて経済的な余裕を持てるようになった私たちは、旅行にいく機会が増えた。その旅行中で、訪れる土地について調べたり学んだり、普段なら知ることができない多くのことを見聞きする。その過程でお互いを理解し合い、相手がどのような感じ方をするか、どのような背景の中で言葉を使っているかを知ることができる。しかし、そのような経験を提供する立場にある人々の中には、観光客を単なるお金を稼ぐ手段として見ている人もいるように感じる。そのような態度を改め、私たちが持つ伝統や魅力を、それぞれの地域にふさわしい形で表現し、旅行者に体験してもらうことを目指したい。それが、私が望む未来である。

① 名 前・・・[ 原明 ]

② 出身国・・・[ 中国 ]

③ 来日して [ 8 年 6 カ月 ]

④ [ 心理学 ]

⑤ 私にとって印象に残っているのは、まず中国館でボランティアとして活動した経験です。多くの国の方と記念バッジを交換しながら、言葉や文化を超えた交流の楽しさを実感しました。また、ヘルスケアパビリオンでは「ミライ人間洗濯機」という展示がとてもユニークで感動しました。見学当日は、ちょうど 60 代くらいの男性が体験している場面に立ち会い、高齢者でも快適に入浴できる技術の可能性に驚きました。もし将来実用化されれば、ぜひお爺ちゃんお婆ちゃんにプレゼントしたいと思いました。万博を通して、未来の暮らしと多様な価値観に触れることができ、大きな学びとなりました。

⑥ 私が心理学を学び始めたきっかけは、心の病で苦しむ人を少しでも救いたいという思いからでした。現在は、ゼロ次予防として、心の不調が深刻化する前にいち早く気づき、体質に応じた個別的な支援につなげる方法を探る博士研究に取り組んでいます。具体的には、東洋医学の理論を活用し、身体の特徴から心理的リスクを予測することを目指しています。将来は、誰もが自分らしく生きられ、心の問題で苦しまなくてもよい社会の実現に貢献したいと考えています。私にとってそれが「いのち輝く未来社会」の姿です。

① 名 前・・・[ 曹 冬月 ]

② 出身国・・・[ 中国 ]

③ 来日して [ 3 年 5 カ月 ]

④ [ スポーツ社会学、ジェンダー研究 ]

⑤ 大阪・関西万博では、たくさんの国のパビリオンを見た中で、ブラジル館が一番印象に残っている。木とガラスでできた建物がとてもきれいで、太陽の光で中が緑や黄色に輝いていた。展示ではアマゾンの自然や環境を守る大切さが伝わってきて、音楽や映像も楽しかった。明るくて元気な雰囲気の中に、「人と自然と一緒に生きる未来」というメッセージが感じられて、とても心に残った。

⑥ 私の夢は、スポーツを通じて多様性を尊重し、誰もが自分らしく生きられる社会を実現することである。国や性別、文化の違いを越えて人々がつながる世界をつくりたい。そのために研究を続け、将来的には教育や地域活動を通して社会に貢献していきたい。

① 名 前・・・[ 葛情宏 (カツ セイコウ) ]

② 出身国・・・[ 中国 ]

③ 来日して [ 3年 11ヵ月 ]

④ [ 経済学 ]

⑤ 五月の風が穏やかに吹く一日、私は友人たちと一緒に大阪・関西万博を訪れた。空は透き通り、雲一つない青が私たちを出迎えてくれた。事前の計画なくふらりと足を運んだため、憧れの日本館への抽選には届かなかった。しかし、その偶然がくれたのは、思いがけず当選した「電力館」との出会いだった。一歩足を踏み入れた瞬間、私は現代技術の粋に息を呑んだ。そこには、まるで生命の鼓動のように輝く「小さな電力の卵」が据えられていた。その卵から広がる世界は、私たち自身が電力の源となる遊びの場だった。声を響かせて音で発電し、潮の満ち干を模した装置で波の力で発電し、重りを落とすことで重力が生じ発電するなど、一つひとつの仕掛けが、目に見えないエネルギーを手のひらで感じさせてくれる。私はすっかりその世界に引き込まれ、無心にハンドルを回し、跳びはね、叫びながら笑った。ふと、私は自分の専門である経済学のことを思い出した。普段目にする文献は、グラフと数値で埋め尽くされ、マクロの視点から成長を測るものばかりだ。数字は確かに客観的で明晰だが、時に人間の温もりを遠ざけてしまうこともあった。しかし、この電力館で、私はある気づきを得る。経済とは、決して過去を分析する静的な学問だけではないのだ。この場で、人々が笑いながら生み出した一瞬一瞬の電力が、光となり、動きとなり、未来を紡いでいく—そう、経済は「動詞」だったのだ。それは、歴史の軌跡を振り返るだけでなく、私たちに未来を夢想する勇気を与えてくれる生きた営み。電力館で触れた技術の数々は、単なる機械の進化ではなく、人々の生活をより豊かに、より輝かせるための物語そのものだ。音や動きが電力に変わる瞬間、そこには確かな希望が灯る。それは、文明の歩みが決して無機質ではなく、人間の好奇心と創造力によって彩られていることを教えてくれる。万博の帰り道、夕焼けが空を染めていた。私は、たとえ目当ての館を逃しても、その先に思いがけない発見が待っていることを学んだ。一つの電力の卵から広がる世界が、私の専門に対する見方を変え、経済という言葉に温もりと躍動感を与えてくれた。大阪・関西万博は、単なる展示の場ではなく、訪れる人それぞれの心に、未来への種をまく場所なのだろう。そして、その種はいつか、私たちの手で育て上げ、より興隆した明日を築く礎となるに違いない。

⑥ 万博のテーマ「いのち輝く未来社会のデザイン」を目にした時、私の心に真っ先に浮かんだのは、ドイツ館で体験した循環の美学だった。そこには「わ！」という驚嘆に満ちた空間で、廃棄物という概念そのものが消え去り、すべての物質が永遠の再生の旅を続ける世界が広がっていた。ドイツ館の庭では、ビール樽が花壇に生まれ変わり、使用済みのプラスチックが色とりどりの芸術作品となって陽の光を浴びていた。人々は廃材で作られたベンチでくつろぎ、コーヒーかすの肥料で育ったハーブの香りに包まれながら談笑する。この穏やかで持続可能な暮らしこそが、まさに「いのち輝く未来」の原型だと感じた。ここで私は中国の古い言葉「一鯨落ちて万物生る」を思い出さずにはいられなかった。深い海で最期を迎えた鯨が、その身体を無数の生命へと還元するように、ドイツ館ではあらゆる廃棄物が新たな命の循環の起点となっていた。これは単なるリサイクルの技術ではなく、自然界の摂理を都市デザインに昇華した叡智なのである。私が夢見る未来社会は、まさにこのような「鯨落」の思想で満たされている。コンクリートジャングルと化した都市が、呼吸する生命体へと変容する様を想像する。ビルの壁面には苔が繁茂し、雨水は浄化されて街路樹の養分となり、廃熱は温室栽培のエネルギーとして再利用される。経済活動と生態循環が融合し、数字で測れる成長ではなく、生命の豊かさで進歩を測る社会だ。将来は環境経済学の分野で、このような「生命中心のデザイン」を広めたい。GDPではなく、街中を舞う蝶の数を幸福の指標とする社会を、日本と中国の知恵を結集して創り出したいのだ。万博で触れたあの温もりある持続可能性が、国境を越えて広がる日を夢見て。ドイツ館で学んだことは、未来とは決して無機質なテクノロジーの集合ではなく、自然界の循環を優しく再構築する芸術なのだという事。一頭の鯨が海底で無数の生命を育むように、私たちの選択が次の世代の輝きを決める。そんな希望に満ちた責任を、この万博で教えられた気がする。

① 名 前・・・[ イエ ジェyson ]

② 出身国・・・[ インドネシア ]

③ 現在、日本にきて何年ですか？ [ 5年0月 ]

④ 関西大学で学んでいることは何ですか？ [ コンピュータビジョン ]

⑤ 大阪・関西万博について、残念ながら行くことが叶わなかった私がニュースや SNS を通して感じたことを書きます。私が特に印象に残ったのは、各国の建築が「環境」と「文化」を調和させていたことです。ポルトガル館では、漁網を再利用したロープが使われ、海と共に生きてきた歴史を思い出させながら、自然と共存する未来を表していました。過去の大航海時代と今の環境への意識が一つに結びついているように感じました。日本館は杉の木を使い、「いのちの循環」というテーマのもと、輪の形で建てられています。紹介映像を見て、自然への敬意や「つながり」の象徴が建築全体に込められていると感じました。さらに、マレーシアや中国、アラブ首長国連邦など多くの国が、自然と共に生きる工夫を建築に取り入れていました。マレーシア館は竹を多く使い、通気性のよい構造で、熱帯気候でも涼しく過ごせるデザインになっていました。中国館も再生素材を活用し、伝統の美しさを保ちながら環境に配慮していました。アラブ首長国連邦館ではナツメヤシの廃材を再利用し、日本の木造技術を取り入れることで、異なる文化と技術の融合を実現していました。どの国の建築にも「自然と共に未来をつくる」という共通の思いが感じられました。私の母国インドネシア館では、船をイメージした建物で、海洋国家としての歴史を表し、熱帯雨林や新首都ヌサンタラの展示もありました。そして入り口では「早く、早く、予約なしで、待ち時間なしで」という歌が流れていました。少し恥ずかしいけれど、その明るさや歓迎の気持ちはとてもインドネシアらしいと感じました。万博を通して、環境を守るとともに、文化を大切にする事の重要性に気づきました。どの国も自国の歴史と自然を生かし、よりよい未来を考えていました。これこそが「いのち輝く未来社会」の姿だと思います。



留学生との交歓会

2025.11.6